

ほめ方・叱り方

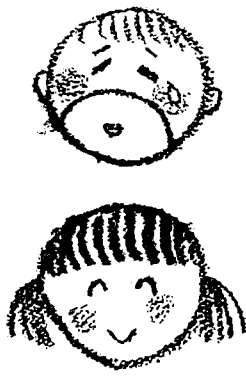
最近、特に子供達の自立が遅れていると言われますが、子供は、常に発達する存在なのです。たとえ、一時的に否定的な表れ方をしても、人間らしく生きたいという願いを、その底に持っています。周りの大人や友達から見捨てられない限り、その願いを持ち続け、いつか矛盾を克服していきます。

子供のしつけは、なかなか一筋縄ではいかないものです。自己主張が強くなると、素直でなくなり言うことをきかなくなるといふ具合に、子供の発達というものは、いつも、程よく調和を保って伸びていくという様なものではありません。良い面も大抵の場合は、悪い面と抱き合わせて育ちます。叱られるようなことをわざと行ったりするから大変です。

成長過程において、一つの価値を取り込んで発達する時には、他の面が崩れたり歪んだりします。「可愛げのなさ」が表れてきた時こそ、新しい価値観を取り込んで大きく成長しようとしている時なのです。そんな時期は、子供が確実に自立に向かって成長しているのだと認識することが大切です。「叱るよりほめて育てよう」と言われますが、元々、「ほめる」というのは、子供の一つの行動をその方向に向かって激励、強化し、

「こういうふうによればよいのか」と気付かせることなのです。「叱る」というのは、子供の行動にある種のストップをかけ、「こういうふうにするのはよくないのか」と気付かせ、自省させることなのです。従って、ほめると叱るは、正反対というよりも、表裏一体の関係になっていると言えます。

では、なぜ親は子供をほめたり叱ったりするのでしょうか。その最大の理由は、親が望ましいと思っている行いをほめることで、より多くさせ、望ましくないと認めて



いる行いを叱ることで、なくしていきたくて思っているからです。子供は、自分の行いをほめられたり叱られたりしながら、他律から自律への道を歩んで行きます。

ほめることも叱ることも、愛情と信頼の絆で結ばれていて初めて意味を持ち、効力を発揮します。大好きな父親や母親にほめられるからうれしいのであり、叱られるから悲しいのです。

愛情をベースにして、お互いの

気持ちがお互いの心に、何気なく届き合う関係をよく培っておくと、叱られた時にも、子供は、親の願いや気持ちを素直に受け止めることができます。

親から愛されているという安心感を抱き所にして、前を向き自立心を養っていきます。だからこそ、本心に、子供が大切ならば、ほめるべき時には、きちんとほめ、叱るべき時には、きちんと叱らなければならぬのです。

子供が人間らしく成長するためには、次のような場面では、毅然とした態度で真剣に叱らなければなりません。

- ・危険な状態に陥ったとき
- ・人間の弱み（盗み、いじめなど）をさらけ出したとき
- ・やるべきことを怠ったとき（勉強、手伝いなど）
- ・約束を破ったとき

ほめ方のポイント

- ① その場ですぐにほめる。
- ② 努力や進歩をほめる。
- ③ 口先だけでなく心からほめる。
- ④ 子供の喜びを共に喜び合う。

「やったあ」と言っている時に子供の気持ちがびたりと、親の心を打っているかどうか問題です。そんな時には、子供の感動に共鳴し、全身で受け止めてあげることが大切です。気付いてもらえ

なかったり、無視されたり、「そんなの誰だってできるんだよ」と皮肉られるのは、いちばん傷つきます。

叱り方のポイント

- ① 行いと人格を切り離して叱る。（行いだけを叱るようにする。）
- ② 行いの直後に、できるだけその場で叱る。
- ③ 簡潔に叱る。（冷静になって、ピシッと叱る方が子供の心に染み透る。）

結婚相談所のご利用を

結婚の申し込みについて

相談所 上谷二一五
(消防署北隣)

都留市結婚相談所
☎(43) 2508

結婚は、人生の最大の課題であり、結婚生活はお互いに相手を尊重し、信じ合い、協力しあって私たち人間の悲願とも申すべき、自由、平等そして繁栄と幸福を求めるものと言われています。

しかしながら、生涯の苦楽をともにする相手を見いだすことは、並大抵のことではありません。このようなときに人格・識見・体験など豊富な相談員が皆様方の良きパートナーとなり、相談に誠意をもってあたられます。

また相談の内容や身分的な問題等すべての秘密は厳守いたしますので、遠慮なくお気軽にご利用ください。

相談について

相談所もしくは、各地区相談員によって随時行っています。ただし、相談所での受付は、毎週月曜日から金曜日まで。受付時間は、午前九時から午後四時までです。